

各部中央委員の皆様

能登半島地震炊き出し支援 3 回目の報告です。

3月20日に輪島の鳳至（ふげし）小学校の体育館に避難していらっしゃる方たちとその近辺の避難所3か所への炊き出しでした。

富山友の会が米粉のシチューの下ごしらえ 300食を友の家で準備してくださいました。

上田からコンコンブルと米粉かりんとう、中野から、ねこ絆纏が届きました。

信越部中央委員の安田さん、近藤さん、馬場さん（高橋久子さんは新潟での友の家のことでの話し合いのため参加できませんでした）と中央部から望月、荻田さん、高松さん、大野さん、そして婦人之友社から高橋信人さんが同行。

婦人之友3月号がお渡し出来ればと60冊持参しました。

17日に中央部の岩谷さんと黒澤さんと横浜友の会の高橋成美さんが横浜の本郷台キリスト教会を支援金をもって訪ねてくださり、支援のリーダーの月井サムエルさんと打ち合わせをしてくださいました。

19日夕方に池袋を出て富山に向かい、近藤さん、馬場さん共々富山で一泊。翌朝6時の新幹線で金沢へ、金沢から七尾線に乗り換え羽咋へ。



本郷台キリスト教会と能登ヘルプがワゴン車2台で羽咋駅まで迎えに来てくださり、安田さんがシチューを富山から羽咋まで車で運び、羽咋で合流。一路、輪島へ向かいました羽咋からは2時間ほどです。



輪島の鳳至小学校で炊き出し。

暴風豪雨で倒れそうなテントを、本郷台の教会の中高生たちと婦人之友社の高橋さんが全身ぐっしょりになりながら倒れないように押さえてくれました。

風が強いので、ガスの火も時々消えて、シチューに火が通るのに時間がかかりました。

野菜不足とのことで、付け合わせにブロッコリーを茹でました。

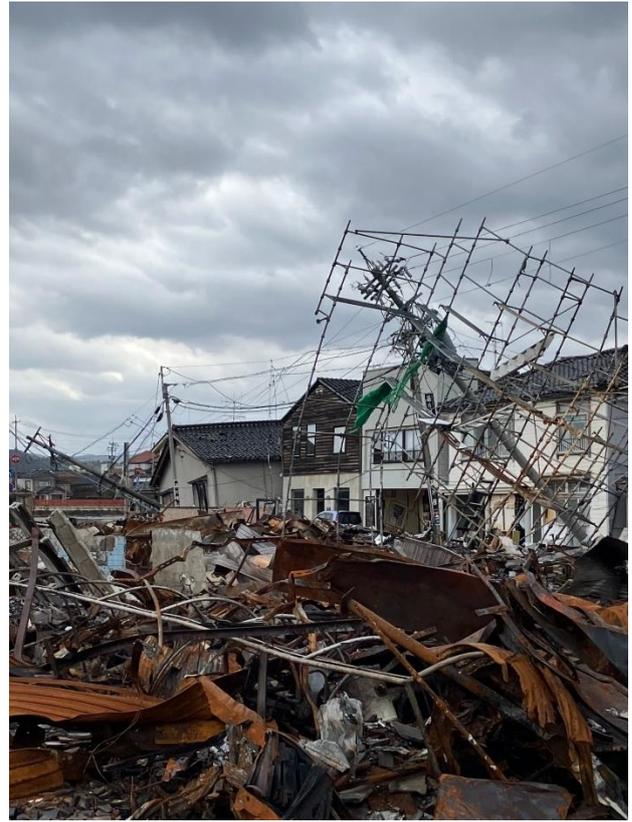


体育館に避難していらっしゃる方にシチューを配膳。中野のねこ絆纏を着けて、温かいと喜ばれました。



ふげし
鳳至での炊き出しを終えて。

この方が友の会の支援でお世話になっている本郷台キリスト教会の月井サムエルさんです。



輪島朝市の焼け跡に立ち寄りしました。

実際にこの地に立つと、こみ上げてくるものがあります。胸がいっぱいになり、皆で輪になってお祈りしました。



支援物資を届けに伺った浦上公民館の交流館では、館長夫人が中心になって避難者の方たちへ食事の支援などをしていらっしゃいます。

サムエルさんが、「今日は友の会の方たちと来ました」と私たちを紹介してくださった途端

「えっ！友の会？婦人之友の？」と驚かれ、なんと婦人之友の読者の方でした。

話も弾み、婦人之友も皆さんへ、とお渡しできました。

喜田さんとおっしゃる、この方の連絡先をサムエルさんから伺ったので、これから友の会として何かお役に立てることを相談しようと思っています。

門前聖書教会へも案内してくださり、ここで能登ヘルプの事務所がある内灘聖書教会の方たちとも出会うことができ、婦人之友をお預けしました。